

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード	1-2-1		事業名	就業サポートセンター事業
担当	経済局雇用推進部雇用推進課 東 貴子 211-2278			
全体計画（当初）				
事業内容	【目的】 札幌市を取り巻く厳しい雇用情勢、とりわけ女性や中・高齢者の厳しい雇用環境を考慮して、官民共同窓口による無料職業紹介事業のほか、札幌市関連事業として 女性や中・高齢者を対象とした再就職支援事業、新たな求人開拓事業、起業家講座、生活環境手続き相談事業、各種就職関連情報などをワンストップで提供する「札幌市就業サポートセンター」を平成16年10月18日に開設し、その運営を行う。 【場所】 北区北24条西5丁目 札幌サンプラザ1階 【実施機関】 ハローワーク札幌北、民間職業紹介事業者2社及び札幌市		＜年度別の事業内容＞ 【16年度】札幌市就業サポートセンター開設（H16.10.18） 官民共同窓口による職業相談・職業紹介 女性、中高年齢者の再就職支援事業 求人開拓・企業情報収集等事業 起業家講座（9月～11月） 生活環境手続き相談 【17年度】 16年度と同じ事業を年度通じて実施する（但し、起業家講座は10月～12月予定） 【18年度】 引き続き、同じ事業を実施する予定（一部事業は拡充）。	
	平成16年度事業内容（決算）		平成17年度事業内容（決算）	
事業内容（量・場所・規模等）	札幌市就業サポートセンターの実績（開設時から半年間） 利用者数 14,676人（H16.10.18～H17.3.31） 就職者数 498人（サポートセンター内のハローワークと民間事業者2社から職業紹介を受けたうち就職が決定した人数） 再就職支援事業の研修受講者 431人（うち就職者数163人） 求人・企業情報の収集件数 約5,400件 起業家講座（3ヶ月講座）の受講生 26人		札幌市就業サポートセンターの実績 （1）官・民共同窓口による無料職業紹介事業 利用者数 35,047人 就職者数 1,287人 （サポートセンター内のハローワークと民間事業者2社から職業紹介を受けたうち就職が決定した人数） （2）札幌市関係事業 再就職支援事業【拡充】（研修受講者729人 うち、就職者数518人） 求人開拓事業【継続】 18,081件 起業家講座【継続】若年層・女性コース 20人 生活環境手続き相談事業【充実】シルバー人材センターで行っていた高齢者就業相談機能を集約し充実させた。	
事業内容（量・場所・規模等）	平成18年度事業内容（決算）		評価（成果）	
	札幌市就業サポートセンターの主な事業 （1）官・民共同窓口による無料職業紹介事業【継続】 利用者数 35,872人 就職者数 1,377人 （サポートセンター内のハローワークと民間事業者2社から職業紹介を受けたうち就職が決定した人数） （2）札幌市関係事業 再就職支援事業【拡充】（研修受講者867人 うち、就職者数574人） 求人開拓事業【継続】 17,543件 起業家講座【拡充】 女性コース20人、中高年コース 30人 生活環境手続き相談事業【継続】		オープンから約2年半の利用実績（H16.10.18～H19.03.31）は、利用者数85,595人（1日平均約143人）、就職者数3,162人となっている。特に、18年度は利用者数目標35,000人に対し、35,872人の実績、就職者数目標1,000人に対し、1,377人の実績と目標を達成することができ、市民から施設の認知度及び役割について、一定の評価を得ていると判断することができる。	
課題				
札幌圏の雇用情勢は回復傾向にあるものの、全国に比べると厳しい状況が続いており、特に再就職を目指す女性や中高年齢者に対する雇用の受け皿が不足している。また、希望する仕事の多様化に対応した求人の確保など、引き続ききめ細やかな再就職支援策が必要である。				
19年度以降の方向性（事業予定）				
求職中の市民に対し、公共職業安定所と民間職業紹介事業者の官・民共同窓口による無料職業紹介と、再就職等を支援する各種講座の実施、就業相談の場をワンストップで提供しており、利便性が高いことから、利用者数は増加している。また、札幌圏の厳しい雇用情勢のなか、職業紹介による就職件数も伸びていることから、引き続き本事業を継続していく必要がある。 また、近年メンタルヘルスなど職業生活に伴うさまざまな悩みや問題などを抱えている利用者に対応するため、平成19年度から新たに「仕事の悩み相談室」を開設し、「安心して働ける職場環境づくり」をサポートする。				

